

学校法人ISI学園 専門学校東京ビジネス外語カレッジ
2023年度 Digital Business Syllabus

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	デジタルビジネストラנסフォーメーション II (TDB139)	配当学年	1
講義名 (コード)	デジタルビジネストラנסフォーメーション II (TDB139)	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス	時間数	30
対象コース	デジタルビジネス	講義期間	秋
専攻		履修区分	必修
授業担当者	居山・染谷	授業形態	講義
成績評価教員	居山・染谷	実務者教員	はい
実務者教員特記欄	本授業は関連業界で職業経験ある講師にて実施される。		

2. 本授業科目の概要	
目的 (位置づけ)	世界で進行しているDXの具体的事例や、起業のプロセスや事例を研究する。そのうえで、各自の起業プランを作成する。
到達目標	各自ごとに起業プランを作成。どんな分野でどんなDXを実現するか構想を作成し、模擬Venture Pitchでプレゼンできるようになる。
全体の内容と概要	連携企業の協力の元で行われるworkshop中心の授業。終盤では企業やマスコミにも公開の形での模擬Venture Pitchを開催する。
授業時間外の学修	登場する連携企業について各自の事前調査を奨励 日本の連携企業の事例研究をヒントとして、類似例などを海外で探すリサーチワーク 模擬Venture Pitchに向けた準備
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	講師	授業内容
1	Facilitator	DXとは何だ 身近なDX事例 東京オリンピック・パラリンピックでのDX
2	Facilitator	DXが変える社会 DXを起こすビジネスモデル なくなる産業、なくなる会社、なくなる仕事
3	S.Ride 西浦 社長	S.RIDEの目指す世界とチャレンジ
4	シェアリングエコノミー協会石山アンジュ 様 (On-Line)	シェアリングエコノミー 領域 モノ・移動・空間・お金・スキル 5分類 AirB&B, ランサーズ、
5	Facilitator	シェアリングエコノミーの事例解析ワークショップ なぜ顧客価値が高まるか
6	Facilitator	課題:世界のSharing Economy事例の英語記事をレポートする
7	星野卓也 先生 (城西国際大学)	映像の歴史 (フィルム映画→テレビ放送→テレビ録画→レンタルビデオ→ DVD→ネット配信→Youtube/動画共有) 音楽の歴史 (ラジオ放送→レコード→CD→ダウンロード→ストリーミング)
8	星野卓也 先生 (城西国際大学)	ビジネスモデルの検討 映画会社、音楽会社はどうやって儲けるか? 制作者、作詞家・作曲家はどうやって儲けるか?
9	星野卓也 先生 (城西国際大学)	Youtube ビジネスモデルどうやって儲けるか?
10	Facilitator	様々なビジネスモデルの整理 成功のポイントは何か?
11	Creww 伊地知社長	Crewwの会社概要 サービス内容 Start-upとは?
12	Creww 伊地知社長	起業するとはどういうことか? 起業家精神、資金調達、IPO、Venture Pitch、Fund 等等
13	Creww 伊地知社長	起業の成功事例、失敗事例
14	Creww 伊地知社長	君たちは起業をしたいか? 模擬Venture Pitch Workshop
15	Facilitator	推薦書1つについての感想文提出 ショートワークショップの後、45分でレポートをまとめ提出

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	「リーンスタートアップ」「アントレプレナーの教科書」
備考	